

〈平成29年7月4日～5日の大雨〉

降り始めの4日18時から5日24時までの雨量

- ・益田観測所 111.5 ミリ
(最大1時間 40.5 ミリ)
- ・高津観測所 111.5 ミリ
(最大1時間 42.5 ミリ)
- ・下種観測所 245.0 ミリ
(最大1時間 48.0 ミリ)
※4日23時から5日9時までの10時間で237ミリ



平成29年7月4日～5日の大雨による被害の様子
(鎌手地区)

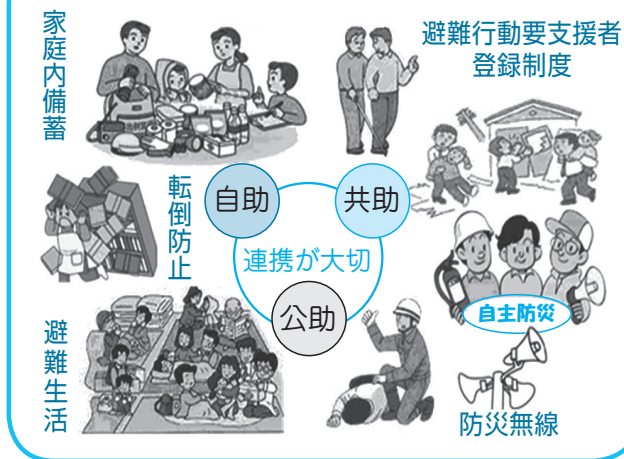


近年、全国的に地震や豪雨などの災害が多発しています。平成30年7月豪雨では、西日本を中心に各地で人的被害をはじめ家屋の倒壊や浸水等の甚大な被害が発生しました。

益田市では、これまで幾多の自然災害を経て、大規模な河川改修や、ダムの建設などが行われてきました。また、災害情報をいち早く皆さんにお知らせする手段として「防災無線」や「益田市安全安心メール」「緊急防災放送装置」といった情報伝達システムを整備してきました。

しかし、こうしたハード面での対策だけでは、万全ではありません。災害による被害を最小限に抑えるためには、**自助・共助・公助** それぞれが災害対応力を高め、連携することが大切です。

災害に備える＝被害を最小限に抑える



自助・共助・公助とは？

◆ 自助 自分や家族を災害から守る

「自分の命は自分で守る」これが防災の基本です。転倒防止のため家具等を固定したり、災害に備えて非常食の家庭内備蓄に努めるなど、日頃から家庭での防災対策が大切です。

◆ 共助 地域や近隣の人々が協力して災害に備える

「自分たちのまちは自分たちで守る」これが地域を守る最も効果的な方法です。そして、地域を守ることは自分を守ることです。

大規模な災害では、地域の防災機関（警察や消防など）も、同時にすべての現場に向かうことはできません。救出活動も消火活動も、早く始めるほど、そして、多くの人が協力するほど被害を小さく抑えられます。



◆ 公助 国や自治体が災害に対応する

益田市をはじめ、警察・消防・県・国といった行政機関、ライフライン各社をはじめとする公共企業、こうした機関の応急対策活動を公助と呼びます。

益田市は各機関と連携を取り、災害の発生からできるだけ早く、応急対策活動にあたることができるよう備えています。

〈自主防災組織をつくろう〉

○自主防災組織とは…

自助・共助を強化するための組織です。

○活動内容は…

災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います。

○益田市内の組織数等（平成29年度末）

組織数（自治会、町内会）… 61 団体
カバー率（世帯数）…………… 36.07%

危険を感じたらすぐ避難！

ハザードマップで、危険箇所、避難場所、避難経路を確認しておきましょう。
防災情報や避難情報に注意して、早めの避難を心がけましょう。



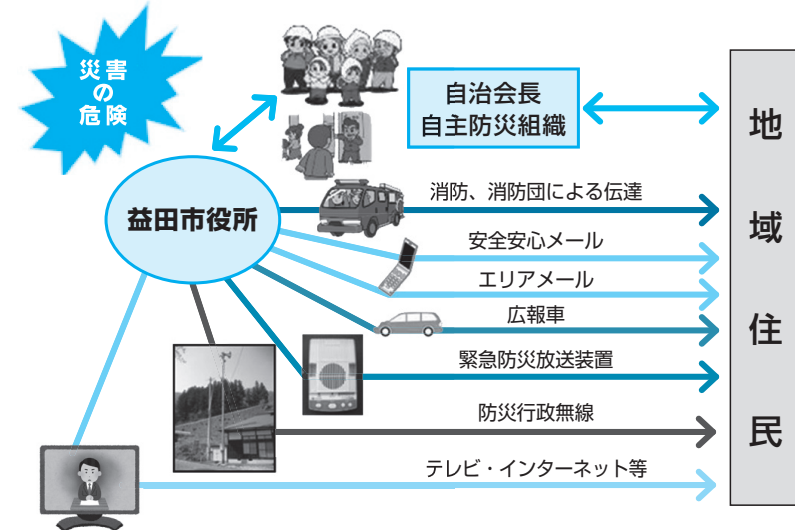
■避難情報の種類と対応

危険度	避難情報の種類	発表の目安	取るべき行動
高い	避難準備・ 高齢者等避難開始	災害により人的被害の発生する可能性が高まってきている状態です。	避難行動要支援者（高齢者、障がい者、子ども）など、避難に時間を要する方とその支援者は、避難行動を開始してください。その他の方は、いつでも避難できるように非常持出品の用意をするなど、避難の準備を開始してください。
	避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まっている状態です。	速やかに避難場所などの安全な場所へ避難を開始してください。外出が危険な場合は、自宅内の安全なところに避難してください。
極めて高い	避難指示 (緊急)	災害が発生するなど状況が悪化し、人的被害の危険性が非常に高まっている状態です。	ただちに安全な場所への避難を完了してください。外出が危険な場合は、生命・身体を守るためにできる最大限の行動をとってください。

※必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。

※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

■益田市役所から発表される避難情報等の伝達方法



■非常持出品の準備をしましょう



非常時に備えて当面の生活に必要な物品を、避難するときに両手が使えるようにリュックサックにまとめておきましょう。また、いざという時に備えて保存状態・使用期限を点検・交換しておきましょう。

益田市安全安心メール

まだ登録していない方は、この機会にぜひ登録を！

市では、市内で災害や事件・事故が起こった際に、市民の皆さんへの迅速かつ正確な情報の提供を行うため、「益田市安全安心メール」の配信サービスを実施しています。

携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなど、メールアドレスがあれば誰でも登録できます。

台風進路情報

警報情報

避難情報

地震情報

余震注意喚起情報

津波情報

土砂災害警戒情報

大規模事故・火災

※その他、防犯関係の情報、食中毒に関する情報、通行止情報なども配信しています。

■登録方法

- 1 次の登録用メールアドレスに、件名・本文を入力せずにメールを送信してください。
bousai.masuda-city@raid3.ktaiwork.jp
- 2 返信されたメールに記載されたアドレス（URL）へインターネット接続し、表示内容に問題がなければ登録を実施してください。
- 3 登録完了メールが届けば完了です。

【問い合わせ先】市危機管理課 ☎ 31-0601

まとめ読み!

ワンポイント防災知識

～そのときどうする風水害編～



広報ますだでは、毎号、「ワンポイント防災知識」を掲載しています。ここでは、4月号から今月号までに掲載した「ワンポイント防災知識～そのときどうする風水害編～」全6回をまとめました。これからの台風シーズンに備え、防災の参考にしてください。



早期に避難して助かったケースが数多くあります



前触れがあった場合や大雨が降り続いて危険を感じた際は、自主的に早期避難をしましょう。

- がけ崩れ**【前触れ】崖からの水が濁る、崖にひび割れが入る、小石がバラバラと落ちてくる。
- 土石流**【前触れ】山鳴りがする、雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 地滑り**【前触れ】沢や井戸の水が濁る、斜面から水が噴き出す。

避難の際には水位に注意しましょう



水の流れる速さにもよりますが、歩いて避難するときに動ける水の深さは最高でも股下までです。水位が上がる前に避難をしましょう。長靴は水が入ると動きにくくなるので、動きやすい運動靴などを履き、長い棒を杖代わりに安全を確認しながら歩きましょう。



「避難情報」の違いをご存じですか?

避難が必要な場合、益田市長が発令する情報は3つあります。

種類	内容
避難準備・高齢者等避難開始	避難の準備を呼びかけるものです。避難に時間がかかる要配慮者とその支援者は避難を開始する必要があります。
避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まっています。速やかに避難を開始してください。
避難指示(緊急)	大至急、近くの安全な場所に避難するか、屋内の安全な場所に避難してください。

必ずしも段階的に発令されるとは限りません。これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

時間を表す言葉

「くもり夜のはじめ頃から雨」と天気予報がされた場合、何時頃から雨が降るのでしょうか。

- 0時～3時……未明
- 3時～6時……明け方
- 6時～9時……朝
- 9時～12時……昼前
- 12時～15時……昼過ぎ
- 15時～18時……夕方
- 18時～21時……夜のはじめ頃
- 21時～24時……夜遅く

をいいます。(気象庁ホームページから)



「降雨量」と「体感雨量」について



気象情報で使われる「降雨量」とはどのくらいの雨量でしょう。「『強い雨』が降ります。」と言われたら、どのような雨が降るのでしょうか。

- 「やや強い雨」(10～20mm)とは…**
ザーザーと降る雨。長く続くときは注意が必要です。
- 「強い雨」(20～30mm)とは…**
土砂降りの雨。側溝や下水、小さな川があふれる場合があります。
- 「激しい雨」(30～50mm)とは…**
バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川ようになります。
- 「非常に激しい雨」(50～80mm)とは…**
滝のように降る雨。マンホールから水が噴き出します。
- 「猛烈な雨」(80mm以上)とは…**
圧迫感のある雨。大規模な水害が発生するおそれがあります。

普段からの心得



- ・日頃から気象予報に注意し、状況によっては外出や旅行計画の変更や中止を決断しましょう。
- ・排水溝や側溝は常に水はけの良い状態にしておきましょう。
- ・屋根や外壁、ブロック塀などは定期的に点検し、必要に応じて補強や補修をしておきましょう。
- ・停電や断水に備えて、懐中電灯や携帯ラジオ、電池や非常食、水などを用意し、日頃から非常持出品を備えましょう。



10月号からは、「ワンポイント防災知識～そのときどうする地震編～」全6回を掲載予定です!

